

科目名称：	日本事情Ⅲ	
担当者名：	王 玉	
区分	授業形態	単位数
留学生別科に関する科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
<p>初めて来日する留学生にとって、言葉はもちろんのこと、その他日本の文化背景や国民の考え方、生活習慣、風土人情などいわゆる異文化に対して、どのように理解するかは、日本での留学生活が円滑に行うことができるかにかかわる最も重要なことだと考えられる。また、学園生活を含む普通の生活上のマナーや、いざというときの対応方法なども事前に知る必要がある。したがって、本授業は日本事情および注意事項を紹介するとともに、これらに関して日本語の正しい使い方をマスターしてもらうことを目的とする。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>日本で日常生活におけるマナーを理解・遵守すること、自主的に学習する心構えと態度を身に付けることを達成目標とする。具体的には対人挨拶・応答ができること、交通ルールを理解し守ること、学校規則を理解し守ることなどとする。</p>		

留学生別科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身につけている。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)			80	20	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 電子黒板によるガイダンス：留学生に関する日本の各種制度紹介（Ⅰ） 準備学習時間：120分	在留手続き・更新・再入国・日本の学校 (1) 日本の四月の時事	120分
第2回 日本で日常生活上の留意点Ⅰ・緊急時対策等 準備学習時間：120分	居住マナー 心得・交通ルール・各緊急時の連絡方法 読解1(加藤家の一 日)	120分
第3回 各種留学生に関する日本の各種制度Ⅱ 準備学習時間：120分	進路試験・奨学金・読解2(加藤家の一 日)	120分
第4回 外国人向けサービスあれこれ 準備学習時間：120分	日本語学習を提供する公的機関・民間のボランティアなど・読解1(同上)読解2(同上)	120分
第5回 日本で日常生活上の留意点Ⅱ 準備学習時間：120分	不審な来電・連絡などに警戒 身を守るなど 読解1(同上)読解2(同上)	120分
第6回 伝統行事(1)日本人のライフスタイル(1) 準備学習時間：120分	日本の住まい1・読解1(同上)読解2(同上)・5月の時事	120分
第7回 石川県・日本の伝統文化Ⅰ 準備学習時間：120分	金沢の食・読解1(同上)読解2(同上)	120分
第8回 日本社会のシステムⅠ/「日本の心」(1) 準備学習時間：120分	日本の行政・茶道など・読解1(同上)読解2(同上)	120分
第9回 石川県・日本の伝統文化Ⅱ 準備学習時間：120分	石川の祭り1・百万石祭り・読解1(同上)読解2(同上)	120分
第10回 義理・人情/マナーとタブー(1) 準備学習時間：120分	贈呈・返答礼儀など・読解1(同上)読解2(同上)	120分
第11回 伝統行事(2)日本人のライフスタイル(2) 準備学習時間：120分	日本の季節・読解1(同上)読解2(同上)	120分
第12回 お世辞・敬語など/「日本の心」(2) 準備学習時間：120分	華道・読解1(同上)読解2(同上)	120分
第13回 日本の主な観光地とその歴史文化(1) 準備学習時間：120分	日本の地理1・石川の祭り2・読解1(同上)読解2(同上)	120分
第14回 神と祭りと日本人Ⅰ 準備学習時間：120分	日本人と神・様々な「神」1・読解1(同上)読解2(同上)	120分
第15回 グループワークで来日してきた見聞を日本語でまとめる。 準備学習時間：120分	総合練習に関するまとめ方など	120分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。  
レポート(80%)・授業への貢献・積極的関与(20%)を合せて総合評価します。

#### 課題に対するフィードバック

回収した課題を点検・添削し、次回の授業で個人に返却し、共通した問題点を説明したり、全体の分析をしたりして理解を深めさせる。

#### 教科書・参考書

毎回プリントを配布する。  
参考書：「加藤家の一」「日本の伝統文化」「日本を知る(日本の近代化に関する人たち)」  
改訂版 板坂元著 スリーエーネットワーク出版 他 関わる資料 プリント配布